

布農 (ブヌン) 文教基金会

ブヌン文教基金会と設立の所以

1995年設立された、台湾先住民族による最初の基金会です。設立当初からブヌン部落の方針である、先住民の生活様式、文化継承と発展、レジャー産業の開発、民族の自尊心を取り戻すこと、先住民の素晴らしい文化を様々な人に知ってもらう。これらの事にこの従事して参りました。

1984年白牧師は妻の麗雪と一緒に、過疎化していく故郷の台東県延平郷に先住民達の様々な社会的な障害を乗り越え部落に新しい道を築くために身を捧げる想いで帰郷しました。

ブヌン基金会最初の10年間は特に子供たちの教育に力を入れました。牧会の傍ら、白牧師は毎日部落の子供達に補習を義務づけ、学生の長期休暇の時は都市部の優秀な大学生に教えに来てもらいました。1992年には、台湾原住民初めてのブヌン幼稚園を設立しました。

また白牧師自身が小児麻痺で足が幼少時から不自由な為、障害者の苦労をよく理解しておられ、1993年には、ブヌン障害者、老人センターを設立し、現在(2007年)21人の障害者及び老人を養護しています。

1983年白牧師は、長年計画していた、文化継承と経済発展の両方を兼ねた模式を実現させる為、ついに“ブヌン(布農)文教基金会”を創立しました。仕事と自尊心を取り戻し部落を改善させる為、自給自足と民宿業、伝統舞踊ショーの為の舞台、有機栽培地区の作成、美術展開催、狩猟、海外公演、福祉活動等、原住民部落復興の為に様々な道を造りました。

ブヌンの歴史的使命

1984年白光勝牧師は身を犠牲にする覚悟で故郷である台東県延平に帰りました。白牧師は原住民の前途多難な就職問題を体験し深く理解しておられ、その唯一の打開策が部落を復興させる事というも認識していました。最初の十年は教育方面に力を注ぎました。牧師として説教の傍ら、毎日村の子供達に課外授業を義務付け、毎年都市部の優秀な大学生達と連携し、学習キャンプを定期的に行きました。また、1992年には台湾原住民初の幼稚園、ブヌン幼稚園を設立しました。

1994年頃から白牧師は、文化の伝承と経済発展の両方を兼ね備えた模式をブヌン部落で実践する方法を探索していました。1995年エデン社会福祉基金会の協力の下、全台湾初の原住民による「ブヌン文教基金会」を設立しました。その後、リシャン基金会の協力で7-ELEVENに募金活動をして頂き各方面の愛の募金の下、一千百万元が集められ、ブヌン部落の基礎工事に着手することができました。

ブヌン基金会は、1995年創立以来たった一人の職員から現在40名の正職員、40名の準職員が自給自足で台東県延平郷の自分の土地の上で、尊厳のある生活を送っています。

ブヌン部落は原住民の就職状況を再建し、自給自足の暮らしを送り、私達ブヌン族を全国、全世界に知っていただければと願っております。今ある設備は、部落劇場、部落民宿、部落お食事処、部落喫茶店、機織工房、会議室、有機農場、牧場、農産物加工工場、コンビニ、リバーサイドパーク、蝶々谷地区、山林生態公園です。

2002年、ブヌン紅葉温泉の経営権を再取得しました。原住民観光保留地として政府に没収された後、再び原住民が経営管理できる権利を再取得した前例の無い意味深い温泉です。また日本統治時代は派出所のあった所でもあります。2003年より7、8月週末は音楽祭を開き台湾内外のバンドと地元のバンドの交流を積極的に行っている場でもあります。

ブヌン文教基金会は地元の文化教育と社会福祉サービスもしております。学生の夏休みと冬休みには学習会を開き、展覧会を開催し、自然保育園、青少年狩猟キャンプ、国内外の演奏ツアー、子供機織体験キャンプ、原住民芸術製作討論会、旧部落地図製作、老人在宅福祉活動、有機農牧業、文化研究、芸術創作、環境保全、教育、福祉等これらのことを実践し原住民部落の未来の為の道を模索しています。

ブヌン文教基金会はキリスト信仰を基礎に、産業を発展し社会福祉、文化継承をブヌン部落で実践しブヌン族の家庭経済を永続的に支え発展させることを信条としています。

〔教育方面〕

1984年学習キャンプを開き、小中学生が夏冬休み数週間課外授業に参加しました。2000年“ブヌン学苑”に改名。この時既に100人以上ブヌン族の青少年が就学していました。そして卒業した者の12名が既にブヌン部落で仕事を始めています。1990年から奨学金制度を開始し、現在80名の経済的貧困状態家庭のブヌンが学校に通っています。

〔産業発展〕

ブヌン文教基金会は1995年創立以来、ブヌン部落の経営方式である、原住民の生活様式と原住民観光業を融合し人間文化、お土産の「文化産業、産業文化」経営を規範に、民宿業、農産物加工、地方特産物を産業へと発展させてきました。そして200名のブヌン族に仕事の機会を与え彼らの家庭経済に貢献しています。

〔社会福祉〕

社会福祉は自主的行動です。弱者の世話をすることは、すべての命あるものへの尊重です。ブヌン部落の基礎工事終了後、2000年老人の在宅福祉サービスを開始、食事の供給、一人で生活が困難な老人への福祉活動をし、晩年を少しでも心地よく過ごして頂ければとブヌン文教基金会は考えて行動しています。

〔芸術文化〕

ブヌン族婦女の伝統である機織りを基礎に様々な作品を日々創作する“ブヌン機織り工房”を設立し技術を伝承し更に就職の機会を増やしています。

1997年鹿鳴河河川保育、河川敷の環境整備、蝶の為に彼らが好む植物を植えるなどし、数多くの絶滅しかけていた蝶を復活させることに成功しました。

1998年よりたびたび原住民芸術品創作展示会を開催。

国内外の原住民伝統舞踊の演出にもたびたび出演し好評を得ています。

ブヌン文教基金会設立概要

設立期日：1995年2月17日

立案期日：1994年12月19日

立案登録番号：(83)府教社字第135525号

台東地方院登記字号84年法登字1号

原住民部落発展の展望

原住民部落を観光地とし部落を発展させるモードは、ブヌン文教基金会の発足後急速に発展しています。また近年の政策で観光業を推進することも後押しとなっています。今まで山奥で森林伐採の仕事をしていた人が、登山の案内人として活躍したり、家庭主婦が機織り師として部落、家庭の経済に貢献したり、失業中の人が有機農場の農夫になったりと原住民をもう社会の重荷といわれないうち自分の土地で仕事をしっかりして失われた尊厳を取り戻します。昔は皆で分担し狩猟したものを皆で分かち合って暮らしていました。今は部落の経営でそのチームワークを生かしながらがんばっています。

ブヌン基金会は数多くの非営利団体の支えによって発展してきました。もし民間や政府だけの支えですと、経済状況や社会現象、政策により私どもなんかはすぐ潰されてしまいますが、数多くの社会福祉機関がブヌン文教基金会をサポートしてくださるのでなんとか今日までやってきました。ブヌン部落最初の10年(1995~2005)は非営利団体の原住民部落としての発展方法を模索してきました。次の10年はあなたにも“ブヌン望みの工程”プランにご参加いただきブヌンと永遠の友達となり、台湾最後の清らかで美しい山々を一緒に愛しましょう！！

ブヌン部落 2005 年後の計画

ブヌンの美しい部落に残り自分の土地の上で生活し、永続的に発展していく為、ブヌン文教基金会は次の10年を計画しました。——ブヌンの継続的な「希望工程世紀の夢」、この夢に皆さんの御参加をお待ちしています！！

ブヌン部落更なる発展工程。

1. ブヌン農場の農産物加工工場設立。
2. ブヌン牧場を造る。
3. 150の客室の増設と相互施設の建設。

アボリジニー禁酒センター設立。

継造計画の主要施設は禁酒センターです。禁酒プログラム期間中、部落内外の伝統芸術品の創作に参加できます。プログラム終了後は、部落に残り皆と共に

ブヌン部落で働き共に、技能、尊厳、信仰と文化のある暮らしを送り、原住民の希望ある未来の計画に向けて共に歩みます。

老人村の設立

ブヌン文教基金会は2001年から、お年寄りへの食料供給、在宅サービス、病院への同伴サービス等を通じて老人村建設に向けての必要なものを学んできました。老人達自他共にその存在価値を認識し、尊厳のある暖かい晩年を過ごし頂き、また同時にブヌン族の伝統文化を若者に伝える機会を作りブヌン文化を深耕し、存続させます。

休学生の家—ブヌン希望家族園

子供達に教育の場を与えたい——これは“社会”から離脱している原住民家族達の切実な思いです。“ブヌン希望家族園”は学校に通えない失学中の子を持つ家庭の宿命を徹底的に改変する計画です。団体生活は生涯の規範になる“愛”が彼らを成長させると信じています。

知的障害者の家設立

豊かな山林資源運用法——全国の知的障害者がブヌンを訪れ美しいブヌンの山林で暖かい家族と共に、養護体制も整え、社会福祉の人と共に暮らす。この計画はブヌン族と台湾の漢民族の長年の支持によって少しずつ達成している途中であり、また原住民と漢民族が共同で創造し融合に成功した類まれな1つの模式でもあります。

2005年後の計画

2005年前、皆さんのご協力のもと、ブヌン部落の基礎と計画を打ち出しました——時は経ち、私達の努力で経営の成果が目に見えるようになってきました。今、ブヌン文教基金会は次の10年を計画しています。更に多くのブヌンが自らの土地に帰り生活できる為の下の決意を打ち出しました。

- 一、更に多くの仕事の機会を部落にもたらし、一緒に美しい山林を守り、自分の文化を再建し、過疎化を食い止め自らの土地の上で永続的に発展する。
- 二、更に台湾先住民であるブヌン族の文化を再建伝承する。
- 三、更に子供達や青少年に課外授業や技術を学ぶ機会を設け、優秀な原住民の人材を育てる。
- 四、地元の学校に通えない子達に生活空間と学習の場を提供する。
- 五、貧困家庭の子供には奨学金を提供し、その教育を糧にゆくゆくは経済的に独立できるようにする。
- 六、老人への福祉活動、食事の供給、病院への付き添い、ホームヘルパー、老人村建設の永続化。
- 七、台湾の他民族との交流の場提供。
- 八、観光業、アボリジニー、文化、自然、生態、人文の討論などの国際交流。

ブヌン農牧場

ブヌン部落は、台湾は台東延平桃源村にあります。桃源村の肥沃で広大な土地は部落で皆さんが召し上がる野菜、果物の他にも様々な植物が植えられ、1年を通し豊かな収穫に恵まれます。そのなかでも梅、パイナップルとそれらの加工品、100%ジュース、ジャム、高菜、大根と沢庵、落花生、豆類（ハリアン）、粟酒を厳選し部落内で販売しております。

更に生簀で魚、牛、羊も新鮮で美味しく頂ける様、真心を込めて養っています。

会議室のご利用

会議室のご使用は予約が必要です。

マイク、演台、飲料水機、映幕等上記の値段に含まれています。設備貸し出し。

農特産物センター、機織り工房、ブヌン書店

機織り工房はブヌンの伝統的な作品以外に、現代的な作品との融合も日々研究しております。ブヌン書店は原住民についての本を扱う書店であり、CD、DVDも取り扱っております。農特産物センターはここ台東の豊かな土壌でまごころ込めて育てられた農作物を販売しています。粟酒、炒め落花生、沢庵、フルーツジュース等ここで試食試飲できます。

ブヌン部落咖啡店

ブヌン部落咖啡店は、創立 1995 年ブヌン部落の最初の建物です。ブヌン部落を訪れる人に皆、彫刻師の今は亡きアミ族エキさんによる椅子に座り絶景を眺めながら飲む日本のサイフォン式で入れたコーヒーを絶賛して頂けます。

コーヒー以外にも私達が心を込めて栽培した季節のフルーツ、梅、パイナップル、グアバ、かき氷があります。

また休祝日には、ブヌンのランチセット、焼肉、茶葉で煮込んだ卵などがあります。

演目紹介

演目：ブヌン族子供からお年寄りによる伝統祭典、ブヌン族八部和音、原住民創作曲。

開演時間：午前 10 時半、午後 2 時、各 40 分～1 時間

お客様が 20 名以下の場合は上演しません。

台湾南東文化体験コース

◎ 英語OK ※要予約

童謡、皮彫り、機織り、踊り

◎ 部落内芸術作品閲覧ツアー (20 人以上) 無料・約 40 分。

※ 要予約；月一金、午前 8 時～午前 9 時半 午後 3 時～4 時半

餐飲服務

◎ 団体様 8～10 名様

- ・ 最大 400 名まで可 (1 卓 10 名、計 40 卓)
- ・ ご宿泊、又ご御食事ご予約のお客様に限り入園料無料。
- ・ ご予約は必ず事前にご連絡お願い致します。

◎ 套餐

ブヌン風味定食	月桃飯・BBQ豚・焼き芋・野菜炒め・つきたて餅・炒め落花生・粟粥・粟酒・果物
ブヌン焼肉定食	白米・BBQ豚・目玉焼き・野菜炒め・沢庵・炒め落花生・粟粥・果物

宿泊案内

- ・ ご宿泊のお客様には朝食(バイキング)券
- ・ 部屋数は 68。最大 220 名宿泊可。

ブヌン部落の宿泊施設		S = シングルベッド	D = ダブルベッド
3 人部屋	A6, B3		3×S
	A7, A8, A9, C1-C5		1×D、1×S
4 人部屋	A1-A5	4×S B1, B2	4×S
5 人部屋	D2	2×D、1×S	
6 人部屋	D1	2×D、2×S	
7 人部屋	A10	3×D、1×S	
ハーティ (河堤)			
4 人部屋	河 1～河 16		1×D、2×S
ザンジー (彰基)			
3 人部屋	彰 1～3, 6, 7, 11, 12		1×D、1×S
4 人部屋	彰 4,5,8,9,10,13,14		2×D
ルーイン (キャンプ)			
部落キャンプ場	キャンプ用品の貸し出しはないです。ブヌンのおいしいサイフォン式コーヒー1杯サービスします。		

入場券

入場券は150元です。(3歳以下無料)

この券は部落内で100元の現金として使用できます。

織物、工芸品、BBQ、農産物、珈琲店、御食事処でご使用いただけます。

***但し便利商店、書籍にはご使用できません。**

台湾原住民現代芸術センター（内本鹿ブヌン文化生活館）

台湾原住民の文化芸術の発展を語る際、90年代より徐々に流入された「原住民現代芸術」についての説明が必要です。政策により古代より伝承されてきた原住民の芸術家が使用する石板等素材の入手が制限され始めた頃、“現代芸術”という言葉が頻繁に使われるようになりました。環境の変化は各個人にも影響を及ぼします、“原住民”は元来特有の芸術観を持つ民族でこの“現代芸術”は台湾の芸術史観を震撼させ世界的な芸術品として注目、研究され始めました。

この頃、財団法人ブヌン基金会は台湾原住民芸術家の守り、発展させることに重要な意味があると考えていました。そして遂に“台湾原住民現代芸術センター”を設立しました。その宗旨は、芸文の整合、芸術家へのサービス、展覧会開催等の積極的な取り組み、創作環境を整え優秀な人材の育成などとしています。

「台湾原住民現代芸術センター」目標

1、原住民現代芸術情報センター

当センターは台湾原住民現代芸術の調査と研究し、数多くの原住民現代芸術の資料を保管しています。また、当センターは「国内外芸文メッセージ」、「世界原住民芸術メッセージ」を発刊しています。芸術創作者のメッセージを提供できる空間をホームページに掲載しています。

2、原住民現代芸術展覧事務所、当事務所は原住民の芸術展覧会の開催を促進するためにあります。またこの事務所は原住民現代芸術の研究、討論の場としても利用されています。

3、芸術師サービスセンター

当センターは芸術創作者が行政に申請をする時マネージャーとしてまたそれに伴う必要費用も負担します。

4、原住民芸術行政管理人育成の場所

現在台湾の行政機関の中で芸術方面を理解し管理できる人材はとても乏しいと言わざるを得ません。当芸術センターでは各種の原住民芸術を広める活動を通して、これを管理できる人材を育て行政機関にも理解者を作り台湾の世界に誇る貴重な芸術の保護と発展の大切さを理解していただけるようしたい次第です。

サポートし外に広め発展させること。

原住民的な芸術観の紹介。

原住民現代藝術の研究、調査、企画、展覧会の開催。

原住民藝術家のマネージメントサービス。

原住民現代藝術村の計画。

芸術品の展示と管理

ブヌン部落は創立当初から園内に様々な原住民の偶像を置いています、原住民芸術創作者に作品を提示できる場所を提供し原住民の芸術師や芸術作品により多くの人に触れることのできるように長年経費と時間を割き芸術作品を収集して参りました。2000年“台湾原住民現代藝術センター”設立後、積極的に創作展覧会を開催し、原住民藝術家駐留村を増設し、大型の野外芸術作品をいくつも創作しました。また素人藝術家の発掘や、奇抜な原住民芸術作品の多元的展示方法の研究もしております。作品の質の高さやその数量から、原住民現代藝術を研究されている学者や団体様がブヌン部落を訪れることも少なくありません。私どもは、小さな原住民の観光園ですが、その芸術品の豊富な展示方法は一種の博物館の様だとたびたび形容されます。

芸術品の種類、量の増加やお客様の芸術文化への探求の需要満足の為、本会は芸術品及びその資料を整理保管し研究発展できる人材を必要としています。

本会は2005年12月までに、計215件の芸術作品の保管を確認しました。彫刻（木彫り、石彫り）、絵画、撮影、陶芸、機織り、複合素材等多彩な素材があります。その中の大型、野外作品は1998-2005年までに創作されたものです。また30の作品は作者不明の、パイワン、ブヌン、ルカイ、アミス、ダウ、ピンブ、タイヤ、非原住民族の作品です。その中でも特に、アミス、パイワン、ブヌン族の作品が多く。

財団法人布農（ブヌン）文教基金会

Bunun Cultural & Educational Foundation

No 191, 11th Neighborhood, Taoyuan Vil, Yanping Township, Taitung County 953,
Taiwan, R.O.C

Tel: 00-886-89-561211 Fax: 00-88689-561409

<http://bunun.org.tw>

